

JCES ニュース

Japan Comparative Education Society

NO.22

第 48 回大会のご案内

会員の皆様におかれましては益々ご活躍のこととお慶び申し上げます。

この度、日本比較教育学会の第 48 回大会を、九州大学におきまして 2012 年 6 月 15 日（金）～17 日（日）の日程で開催させていただきます。九州大学での本学会大会の開催は、2002 年の第 38 回大会以来、10 年ぶりとなります。会場には、数年後の移転を控え、本学会ではおそらく最後の大会開催となるであろう九州大学箱崎地区の文系講義棟を使用いたします。また、懇親会には、無料送迎バスを使って、会場近くの福岡リーセント・ホテルでの開催を予定しております。

九州福岡の地は、昨年春の九州新幹線の全線開通によって、九州各地への利便性が高まり、高速船や飛行機等により韓国釜山へも気軽に行くことができ、観光地としての魅力も充実しております。会員の皆様には、玄界灘に面した「アジアの玄関口・福岡」の現在を是非、目と耳と舌で感じていただきたく存じます。懇親会も含めまして、多くの会員の皆様のご参加をお待ちしております。

現在、大会準備を鋭意進めているところですが、日程としては、昨年の早稲田大会にならい、ラウンドテーブルを金曜夕方に開催する予定にしております。また、自由研究発表のセッションでもセッションを増やし、会員の方々が多くの発表に参加できるようにしたいと考えております。

この他、公開シンポジウムでは、アジアにおけるグローバル人材育成に関する大学の役割について取り上げる予定です。また、課題研究Ⅰでは、ASEAN 10 カ国における市民性教育の国際比較研究が、課題研究Ⅱでは、保育・就学前教育の国際比較研究が企画されています。

大会運営には不慣れな点もあり、ご不便をおかけすることもあるかと思いますが、準備委員一同、皆様のご参加をお待ちしております。

第 48 回大会準備委員会 委員長：竹熊 尚夫
副委員長：白土 悟
事務局長：竹熊 真波
事務局次長：飯田 直弘

大会事務局連絡先

〒812-8581 福岡市東区箱崎 6-19-1 九州大学 大学院人間環境学研究院 教育学部門内

日本比較教育学会第 48 回大会準備委員会 宛

E-mail: jces48kyushu@gmail.com Tel: 092-642-3115, 4445

URL: <http://www.gakkai.ne.jp/jces/index.html>

第4回世界比較教育学フォーラム報告

大塚 豊

時まさに「北京秋天」の昨年10月22日から24日まで3日間、北京師範大学において第4回世界比較教育学フォーラムが開催された。同フォーラムは、2002年の第1回以来3年ごとに開催され、2005年の第2回、2008年の第3回に次ぐものである。中国の教育学関係諸学会の統括組織である中国教育学会の顧明遠会長、中国比較教育学会の王英傑会長、世界比較教育学会（WCCES）のLee Wing On現会長、Crain Soudien 前会長、Mark Bray教授、Jürgen Schriewer 教授、Vandra Masemann教授をはじめ、アメリカ、イギリス、ドイツ、フランス、カナダ、日本、ロシア、スウェーデン、オーストラリア、南アフリカ、フィンランド、香港、台湾など14か国・地域の学生を含む350名余りの比較教育学研究者が一堂に会した。

今回は、主催機関である北京師範大学国際・比較教育研究院の創立50周年記念式典が併せて開催され、関係者150名余りも中国各地から参集したため、3日間の会議参加者総数は約500名にのぼり、同研究院の劉保存院長による総合司会で運営された。

フォーラムの全体テーマは「グローバルな教育改革—公正、質、発展」であった。筆者は創立記念式典で「兄弟学会代表」という立場で祝辞を述べるとともに、フォーラムの全体会で「中国語のグローバルな普及に対する華僑華人の役割」を内容とする報告を行った。わが学会関係では、同じく全体会で「文化対話における二分法」と題し、比較教育学の研究方法に関する報告をされた鈴木慎一教授の他、今井重孝教授、沼田裕之教授をはじめ何名かの会員が参加した。

全体会の他に15の分科会が開かれ、「バランスの取れた教育発展の政策と実践」「創造性のある人材育成」「教育の公正、教育の質保証」「教育発展と改革」「比較教育学の学問的充実」「留学生と教育の国際化」「高等教育」「教育のリーダーシップと政策」「教師教育改革と発展」「職業教育と学校の革新」などのテーマに関して134人の報告があり、それらをめぐって参加者相互の活発な討議が行われた。中国の他学会の大会でもそうであるように、大学院生の発表については、会議期間中に「教育改革と社会公正」などのテーマの下に、別セッションが設けられた。



「比較教育学フォーラム全体会」



「北京師大国際・比較研究院創設50周年記念式典」

各種委員会報告とお知らせ

●紀要編集委員会

委員長 山内 乾史

編集委員会では1月末に第44号を刊行しました。通例よりも少しボリュームのあるものになりました。現在は第45号の編集中です。今回は全体で21本の投稿をいただきました。そのうち形式審査で9本がアウトとなり、12本の論文を査読していただいている最中です。アウトになった9本の論文の大半は、論文を保存すべきDVDが空（何も記録されていない）であったり、字数オーバーであったり等、ほんの少し注意いただければ防ぐことの可能なミスと考えられます。今後とも積極的なご投稿を是非ともお願いしたく存じますが、前回もお願い申し上げましたように、投稿規定を熟読してミスのないようにご配慮下さい。また、パソコン、プリンター、ワープロ・ソフト等が不調で投稿規程通りにうまくいかないという投稿者もおられましたが、これらについては、編集委員会としては一切責任を負いかねます。投稿者ご自身で十二分に整備してご投稿下さい。心よりお願い申し上げます。

●研究委員会

委員長 杉村 美紀

1. 学会科研プロジェクト

メンバーによる海外調査のほか、2011年11月3～7日に海外共同研究者（ドイツ、トルコ（オランダ在住）、中国、韓国、オーストラリア（日本在住）を招聘し、愛知県豊田市西保見小学校と保見団地調査、および茨城県水海道のブラジル人学校の調査を実施しました。また11月5～6日には公開セミナー「グローバル時代の人の国際移動と多文化教育」を開催し、初日33名、2日目25名の参加を得ました。ご参加・ご協力いただいた皆様にお礼申し上げます。

2. 震災後プロジェクト

ニュースレター前号にて公募を行い、参加協力のお申し出をいただいた会員有志を中心に、12月16日に初回会合を、また2月22日に第2回会合を上智大学にて開催し、本学会の特性を生かし、次世代の市民性育成およびESDの観点に中心をおいた研究活動を行うことを話し合いました。今後は、連携と協働を軸にしたコミュニティづくりや人々のエンパワーメントへの教育提言を行うことを指針とし、次回学会大会でのラウンドテーブルのほか、国内外のESD関連事業との連携を視野にいて活動を継続的に展開する予定です。

3. 学会大会・研究委員会企画「課題研究Ⅱ」

OECD保育白書（星・首藤・大和・一見訳『OECD保育白書 人生の始まりこそ力強く一乳幼児期の教育とケア（ECEC）の国際比較』2011年、明石書房）（学会誌44号「文献紹介」参照）に関連し、一見真理子会員のご協力のもと、パネル「就学前教育（政策）の世界的潮流—発達保障のための質保証へ」（仮）を開催させていただく予定です。

4. 研究会のご案内

学会科研プロジェクトの一環として、フランスの共同研究者を招き、フランスの移民と教育問題に関する研究会合を2012年3月28日午後（於：国立教育政策研究所）に開催する予定です。

詳細は、研究委員会の園山大祐（大阪大学・sonoyama@hus.osaka-u.ac.jp）または杉村（上智大学・miki-s@sophia.ac.jp）までご連絡ください。

■お知らせ

●新入会員

(2011年9月～2012年2月、入会申し込み順)

野澤 恵美子 (明治学院大学)
 呉 書雅 (広島大学大学院生)
 肖 蘭 (名古屋大学大学院生)
 小島 泰典 (関西外国語大学)
 野崎 志帆 (甲南女子大学)
 井田 頼子 (東京大学大学院生)
 斎藤 健介 (名古屋大学大学院生)
 星野 絵里 (高知大学附属病院)
 川勝 美知子 (上智大学大学院生)
 原 圭寛 (慶應義塾大学大学院生)
 Breaden Jeremy (Monash University)

(2012年2月11日現在の会員数 1065名)

～紀要『比較教育学研究』バックナンバーの全文公開について～

科学技術振興機構 (JST) の運営する Journal@rchive 上で『比較教育学研究』第1号～37号までの紀要の全文をご覧いただけます。会員各位の研究活動にぜひご活用下さい。近年の刊行分である38号以降については、同じく JST の J-STAGE 上で今後、公開を進める予定です。

●年会費納入のお願い

1月末に会費未納分のお知らせとお振込み用紙をお送りいたしましたので、そちらの内容をご確認いただき未納の方はお早めにご納付をお願いします。会費は通常会員 10,000 円、学生会員 6,000 円です。紀要は年2回発行ですが、本学会では当該年度の会費納入を確認後、学会紀要『比較教育学研究』をお送りしています。3年を超えて会費未納の方は会員資格を失います。

〔郵便振替口座〕00820-6-16161 日本比較教育学会事務局

〔銀行口座〕広島銀行西条南支店 普通 3126345

日本比較教育学会 一般

※ ご所属先を通じて納入される方は、入金の際に必ず事務局までご一報下さいますよう、お願い申し上げます。

所属機関名にて振込を行われる場合は、大学名などだけで振込をされるケースが多く該当会員を特定するこ

とが難しいため、会員様が未納のままになる場合がありますので、必ず事務局へご連絡をお願いします。現時点でも特定できていない方がいらっしゃいます。納付済にもかかわらずご納付のご案内が届いていらっしゃる会員様はお手数ですが事務局へご一報いただけますようよろしくお願い申し上げます。

学生会員として登録されている方で卒業された方は必ず所属先・卒業年度を事務局までお知らせ下さい。

※年会費のクレジットカード払いについて (海外在住会員限定)

海外会員の方々には年会費をクレジットカードにてお支払いいただけます。学会ホームページから支払い手続きが可能ですので、ご利用下さい。手数料の関係で、国内在住の会員については、これまで通り、上記郵便振替または銀行振込をご利用下さいますようお願い致します。

●事務局業務の外部委託について

前号でもお知らせしましたが、現在、本学会では事務局業務の一部を株式会社ガリレオ・学会業務情報化センターへ委託しています。会員の皆様からのお問合せなどは新事務局までお願い致します。また、会員情報の更新や会費の納付状況の確認はオンライン上で会員ご自身が行えるようになっていますので、ご活用下さい。

図書 (寄贈本) ・刊行物の送付、学会運営に関する連絡は広島大学内事務局までお願いします。

〒739-8524 東広島市鏡山1-1-1

広島大学大学院教育学研究科

日本比較教育学会・広島大学内事務局

TEL & FAX: 082-424-6231

E-mail: jcesjimu@hiroshima-u.ac.jp

日本比較教育学会事務局

〒170-0004 東京都豊島区北大塚3-21-10

アーバン大塚3F

(株) ガリレオ 学会業務情報化センター

Tel : 03-5907-3750 Fax : 03-5907-6364

E-mail g020jces-mng@ml.gakkai.ne.jp

URL <http://www.gakkai.ne.jp/jces/>